

様式第 2 号

視察研修先	神奈川県寒川町議会	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	寒川町議会オープントーク Café について		
<p>1、2月6日（木）に上記のテーマについて、PM2：00～3：05で行われた。</p> <p>2、これまで2回開催されたテーマは、1回目が「開かれた議会とは」、2回目が「育児と若者の移・定住」。3回目は令和2年5月16日の予定で、テーマは「議会と町民の取組む育児支援充実策」とのことである。</p> <p>3、カフェの内実は、町民が話し、18人いる町議の皆さんは聴き役に徹すること。</p> <p>4、従来の議会報告会では、苦情・詰問・突上げ・要望等が多く後味が悪い。そこで、岩手県久慈市の「かだつて会議」を参考に、青森中央学院大学准教授の佐藤氏を招いて研修を実施した。</p> <p>5、運営物品は、BGM・テーブルクロス・造花・コーヒー・マジックペンを用意。これは各町議の政務活動費から捻出するとのこと。</p>			

様式第2号

視察研修先	神奈川県寒川町議会	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	協働のまちづくりについて		
<p>1、上記のテーマについて、PM3：15～4：20で行われた。</p> <p>2、「協働のまちづくり」は寒川町自治基本条例の第1章第4条で「自治の基本理念」として規定されている。また、第3章（第17条～19条）で町民や事業者のまちづくりへの参加についても定めている。</p> <p>3、実例は、「寒川みんなの花火」「花ボランティア活動」について紹介している。</p> <p>4、同事業には提案制度があり、実例は大部の資料に記載してあった。額は多額ではないものの、きめ細かい案件が記載されていた。</p>			

様式第2号

視察研修先	農林水産省	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	地域農業について		
<p>1、2月7日（金）に、AM10：00～11：57の2時間近くにおわって、農林水産省大臣官房予算課長補佐の伊藤 大介氏、他10名により、予算のポイント・TPP・さくらんぼの3点について伺った。</p> <p>2、本市特産のさくらんぼについては、国内価格が2,462円/kg、生産量が1.6万トンであり、輸入量は4,000トンとのことでした。本市のさくらんぼも天候不順に負けず、頑張っていかななくてはならないと、改めて感じた。</p> <p>3、TPPの国内農業への影響について、将来予想を数値で説明。</p> <p>4、令和2年度版「農林水産省予算の概要」の中の、 3、担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進 の （2）①農業人材力強化総合支援事業 及び ④農業経営の法人化・経営継承の推進 に注目したい。</p>			

様式第2号

視察研修先	厚生労働省	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	地域医療について		
<p>1、2月7日（金）に、PM1：30～2：38の間、厚生労働省医政局地域医療計画課の職員2名より資料の説明を受けた。</p> <p>2、診療実績データの中で、本市に関するものとしては、市立病院と県立河北病院がある。こちらについて、「診療実績が特に少ない」、「類似かつ近接する医療機関あり」各項目の該当数が多かった。</p> <p>3、令和元年9月27日の医政局資料と、12月6日の加藤厚生労働大臣の会見を聞くに、地域医療構想、ダウンサイジング、そして支援策を巡って、きっちり協議せよとの内容と受け取らざるを得ない。</p> <p>4、地域医療構想の推進についての資料63頁の公的・公立病院に関する議論状況によると、山形県は合意済みとなっている。東洋経済（1月11日号）によれば、構想会議の雰囲気は「物言えば 唇寒し 秋の風」状況だそう。性善説ではまとめられず、性悪説に立つしかない状況論でした。どちらが本当の姿なんだろう。</p>			